



熊本県立球磨支援学校

読書教育重点校 活動報告

<学校紹介>

熊本県立球磨支援学校は、球磨郡多良木町にある特別支援学校です。小学部26人、中学部14人、高等部36人、計76人の児童生徒が在籍しています。(令和6年3月現在)「元気で 仲よく 根気よく」の校訓の基、自立や将来の豊かな生活を目指して、様々な学習に取り組んでいます。

本校は、令和6年6月に県立多良木高等学校跡地に建設中の新校舎に移転します。新校舎には、図書室も新設される予定で、準備を進めています。今回の読書教育重点校としていただいた図書寄贈の助成は、新校舎の図書室に蔵書する図書の充実に活用させていただきました。



<図書活動の取り組み>

本校の図書の蔵書数は、現在約1200冊余りで、児童生徒の興味・関心に応じた読書指導を行っています。各学部に図書コーナーを設け、児童生徒が自由に絵本を閲覧したり、各担任が学級やグループでの学習活動に活用したりしています。また、小学部では、年4回地域の読み聞かせボランティア団体による絵本の読み聞かせを行っています。その様子を一部ご紹介します。

令和5年9月14日(木)に読み聞かせボランティア団体「かぜ」による絵本の読み聞かせ会が行われました。今年度は久しぶりに小学部全員で小プレイルームに集まって読み聞かせを聞くことができました。始まる前から「えほん!」「よみきかせ!」と子供たちから声が聞こえてくるくらいとても楽しみにしている姿が見られました。子供たちが大好きな「だるまさん」シリーズに始まり、仕掛け絵本や早口言葉絵本などがあり、読み聞かせに合わせてみんなで早口言葉を言ったり、だるまさんの動きに合わせて体を動かしたりしながら、興味津々な様子で読み聞かせに参加することができました。大型絵本「パンダくんのおにぎり」では、「見つけた!」と前に出てきたり、「あそこにあるよ!」と声が飛び交ったり、みんなで一緒になっておにぎり探しに大盛り上がり!たくさんの絵本と言葉に触れることができ、とても楽しい時間となりました。(本校HPより)



<今後の課題>

令和6年6月に移転する新校舎には、図書室を設置する予定ですが、図書室の運営や図書の分類等の管理方法について、検討すべき課題があります。熊本県子供の読書活動推進計画に基づく読書アドバイザー事業等を利用し、具体的な助言をいただきながら、読書教育の充実に目指して、新校舎の図書室管理、運営を行ってまいります。



新校舎の完成予定図